

『古九谷の暗号に迫ります!』

開催日時：2019年（令和元年）7月20日（土）

14:00～16:00

場所：こまつ芸術劇場うらら 小ホール

（右QRコードから会場詳細サイトへ）



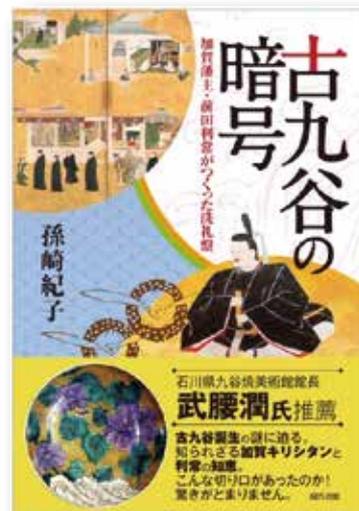
入場無料

古九谷は加賀で焼かれたものであるということは、石川県人には当たり前のことです。しかしながら、東京国立博物館では古九谷は伊万里焼古九谷様式として展示されていて伊万里で焼かれたとされています。

この説に、九谷焼作家の多くの人たちは、何をたわごとを、古九谷は加賀のものであると信じています。

孫崎氏は古文書や、文献、記録、地勢、当時の文化、時代背景など詳細に検討し、前田利常公が小松に隠居している時に、大阪夏の陣で戦功を挙げた藩士(キリシタン藩士)への恩賞として下賜するために古九谷大皿(洗礼盤)を焼かせたと結論づけています。斬新な着眼ですが丹念な調査に基づくストーリーを是非共有頂ければと思います。今回の講演会ではこれらをご紹介しますとともに、利常公のご遺徳を偲びたいと思います。

1. 「利常と古九谷講演と質疑応答」
14:00～15:00 孫崎紀子氏
休憩15分
2. 「利家公、利常公のイノベーションと三州経営」
15:15～15:30
山本博 公立小松大学学長
3. 「古九谷と加賀藩
パネルディスカッション」
15:30～16:00
前田 利祐 前田家18代当主
山本 博 公立小松大学学長
武腰 潤 陶芸家 石川県立九谷焼美術館館長
吉田 幸央 陶芸家
孫崎紀子（「古九谷の暗号」作者）



▲講演者・孫崎紀子さんの近著
「古九谷の暗号」現代書館

▼武腰 潤 作



▼吉田 幸央 作



「利常と古九谷」

講演 & パネルディスカッション

主催 小松同窓会 関東小松同窓会

協賛 公立小松大学

後援 北國新聞社 北陸中日新聞社

賛助 株式会社Bizits パートナース 代表取締役 鈴木 康夫

株式会社ビルカン 代表取締役 佐々木 均

加藤 他可子

株式会社農口尚彦研究所 代表取締役社長 朝野 勇次郎

講演者とパネリストの紹介

講演者 孫崎紀子

1948年、小松で生まれる。小松高校、金沢大学薬学部卒業。
金沢大学がん研究所助手を経て、1971年に結婚後、外交官である夫とともに、
ロンドン、モスクワ、ボストン、バグダード、オタワ、タシケント、テヘランに住む。
「マンナ」「ムミヨとウズベク語」「日本語とウズベク語の比較」
「舍衛女のうた」等のエッセイ・論文がある。
2014年から上智大学山岡三治教授「文化考証学特講」(文学研究科)の講師を務める。
2016年出版『「かぐや姫」誕生の謎』現代書館



講演者 山本 博

1949年 小松市生まれ
1975年 金沢大学医学部卒業
1978年 富山医科薬科大学医学部助手
1985年 東北大学医学部助教授
1990年 金沢大学医学部教授
2014年 金沢大学理事(国際・附属病院・同窓会担当)・副学長
2018年 公立小松大学学長



パネリスト 前田 利祐

昭和10年 東京都生まれ(目黒区駒場)
昭和33年 学習院大学卒
同年 三菱海運(株)入社(現 日本郵船)
平成 9年 宮内庁掌典職
現在 (一般社団法人)霞会館常務理事 を経て
(公益財団法人)前田育徳会評議員会会長
(公益財団法人)成巽閣理事長
(公益財団法人)菊葉文化協会理事
(公益財団法人)徳川黎明会理事
石川県人会名誉会長 他 現在に至る



パネリスト 武腰 潤

1948年、石川県寺井町に生まれる。(九谷焼の名窯である泰山窯の三代泰山の長男)
小松高校、金沢美術工芸大学卒業(日本画、北出不二雄に師事)
1974年、日展初出品入選
以後陶芸家として活躍、色絵は品格高く、現代九谷を代表する作家として国際的にも
高い評価を得ている。
・泰山窯 4代窯元
・日本工芸会正会員、陶芸部会幹事
・石川県指定無形文化財保持団体「九谷焼技術保存会」副会長
・日本陶磁協会九谷焼後援会会長 ・石川県陶芸協会常任理事 ・石川県九谷焼美術館館長



パネリスト 吉田 幸央

1960年 石川県小松市生まれ。陶芸家
金沢美術工芸大学卒業
九谷焼の金彩技法を継承する錦山窯四代目。
(公社)日本工芸会正会員
日本陶芸美術協会常任理事
石川県指定無形文化財保持団体「九谷焼技術保存会」会員
石川県陶芸協会常任理事
小松九谷工業協同組合理事長

